

# 職場における熱中症予防

令和7年5月～9月

## STOP！熱中症クールワークキャンペーン

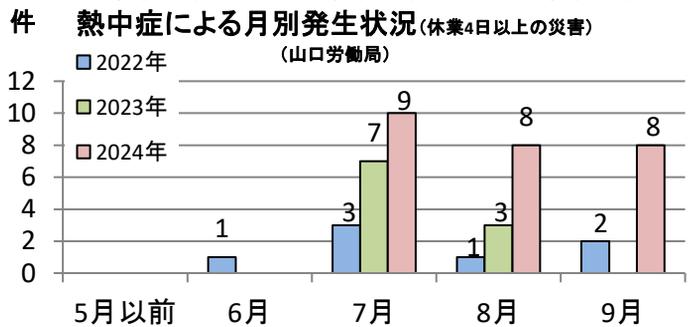
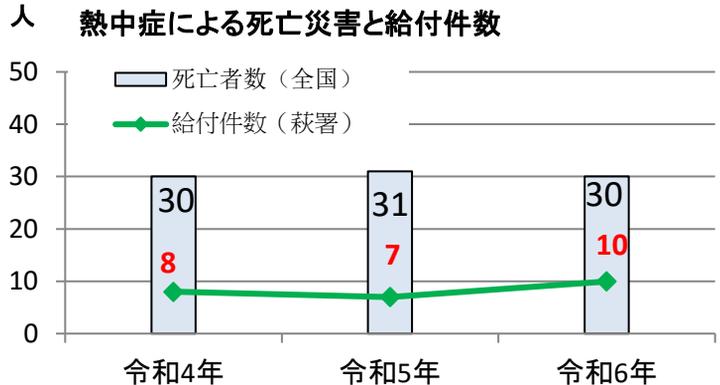
萩労働基準監督署

職場における熱中症予防対策を実施しましょう。昨年、全国では30人もの労働者が作業中に熱中症が原因で亡くなられており、死傷者数も1,195人となっています。

令和7年6月1日には、労働安全衛生規則が改正され、「職場における熱中症対策の強化」が事業者には義務付けられます。基本的な考え方は、見つける⇒判断する⇒対処することです。また、現場における対応は熱中症のおそれのある労働者を早期に見つけ、その状況に応じ、迅速かつ適切に対処することにより、熱中症の重篤化を防止するため、「体制整備」、「手順作成」及び「関係者への周知」が事業者には義務付けられます。

### ～ 全国、山口局、萩署、萩・長門消防本部の熱中症の発生状況 ～

- 死亡災害は、令和4年以降、全国で毎年30人以上発生しています。また、休業4日以上の死傷者数は1,195人と調査開始以降最多となっています。
- 山口局管内では令和6年に、退勤後自宅に帰る途中突然倒れ、救急搬送の約2週間後に死亡する災害が発生しています。
- 令和4年以降、業種別でみると、全国及び萩署では「製造業」及び「建設業」の死傷者数が特に多くなっています。
- 令和6年の月別発生状況を見ると、全国では全体の約半数が7月に集中しており、山口労働局では全体の約3/4が7月と8月に集中して発生しています。
- 暑熱順化の有無が、熱中症の発生リスクに大きく影響しますので、暑さに慣れるまでの順化期間(7日間程度)を確保してください。



### ～ 萩署管内の熱中症災害事例～

発生月	業種	気温	概要
6月	建設業	32.1℃	炎天下で作業中、具合が悪くなった。(休業7日)
8月	製造業	35.7℃	工場内で扇風機を向けて作業していたが体調が悪くなり、翌日熱中症と診断された。(休業7日)
9月	警備業	28.8℃	朝から交通誘導を行い、14時頃に体調が悪化し、搬送後、熱中症と診断された。(休業9日)

### ～ 萩・長門消防本部 ～ 熱中症搬送人数(5月～9月の間)

令和6年	市別	5月	6月	7月	8月	9月	計	総計
	萩市	0	5	23	12	10	50	86
	長門市	2	2	10	13	9	36	

